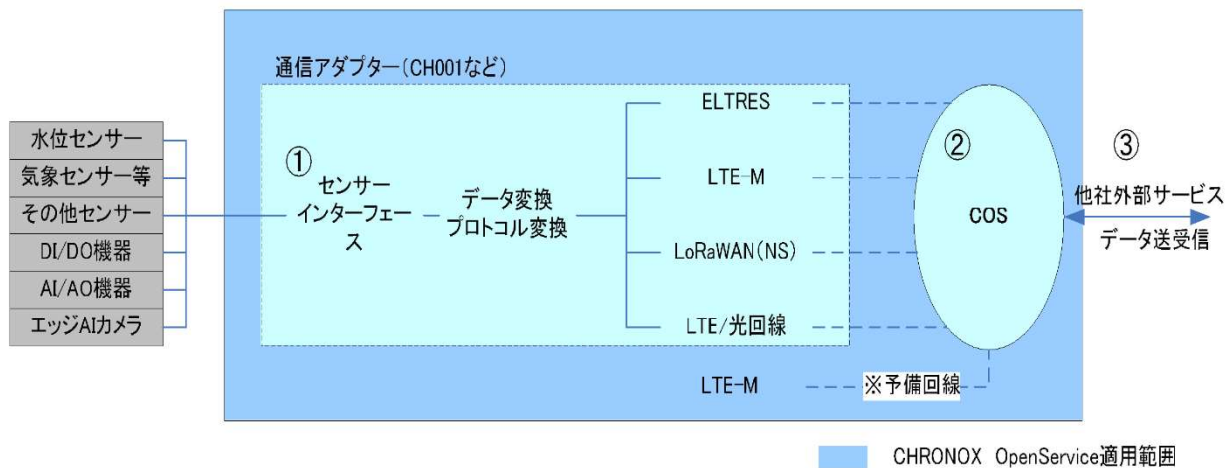
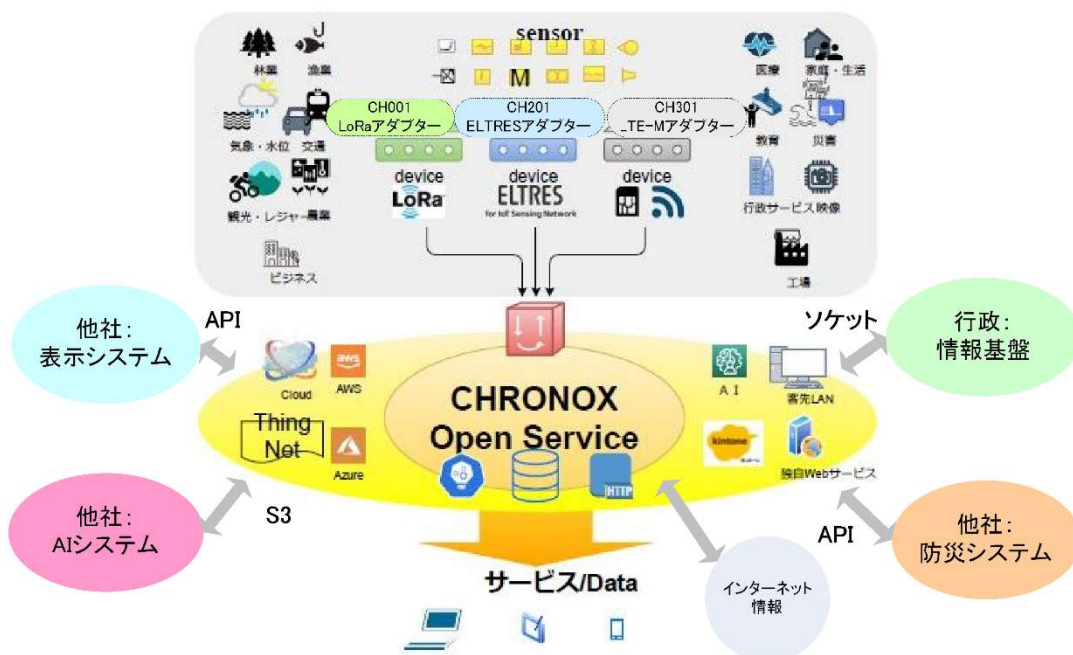


端末機器からのデータ送受信、データベースへの保管、データ監視および表示（データ、帳票）機能を備えています。また、プロトコル変換を実施し、上位クラウドとの間でJSONデータの入出力を行うAPIを通じて、柔軟なデータ連携を実現します。

## Chronox Open Service(COS)



機能	説明
①データ送受信通信装置の製作	端末機器との通信アダプター（CH001, CH201, CH301 等）を製作
②データ監視	データの変換、蓄積、表示、発報を行う
③データ連携	他社およびインターネット情報とのデータ連携 (変換データの配信、入力データの演算)



機能	説明
AQC 機能	AQC (Automatic Quality Check) によりデータの品質チェックを自動実施 例：水位高最大 1m の河川で 2m を検知した場合、AQC フラグを付与
温度湿度機能	制御盤内の温湿度をリアルタイムで把握
メール送信機能	閾値判定に基づく各種メール送信 メンテナンスや障害通知も送信可能
モニター機能	データ、過去データ、電源、メンテ情報、障害情報を表示
遠隔/自動操作機能	リモート操作により、電源 ON/OFF、接点 ON/OFF、アナログ出力、モード切替（計測/メンテ）が可能。また、スケジュールした時間やデータ判定により、自動 ON/OFF/出力、モード切替が可能。
データ保管機能	端末及びサーバ内にてデータ保管。自動リセット機能あり。
データ送受信機能	センサーデータ入出力の構築（センサーインターフェース） 入力：AI, DI、抵抗/周波数、UART、485、232C、I2C、SPI、TCP、UDP、Modbus/TCP、485（スレーブ/マスター） 出力：AO、DO
外部サービス（クラウド） インターフェース構築	TCP クライアント、UDP、FTP サーバ/クライアント、MQTT (Pub/Sub)、HTTP（POST、GET JSON 形式）を介したデータ連携が可能 他社連携：API、ソケット
メンテナンス/障害切替機能	メンテナンスや機器調整時に手動でモード切替が可能 障害時（センサー異常や通信断による欠測）は自動で状態判定し、障害ステータスを発行
死活確認	定期的に機器状態(ステータス)と疎通を確認 回線断時には予備回線に自動切替え、データ送信や遠隔電源 ON/OFF が可能



〇〇市 水位・雨量・積雪データ  
オープンサービス利用例



〇〇企業 工場環境 オープンサービス利用例



農作物+〇〇市水位・雨量・積雪データ  
オープンサービス利用例



【水位計表示画面】



【複数水位計表示画面】



【地震計表示画面】

## 主な事例

- 某自治体やデータ監視・運用会社などで使用されている  
(AWS の IoT Core、DynamoDB、Lambda、Amplify を活用)。

## 上位通信

- LAN

お問合せ TEL076-460-2534 / FAX 076-403-6710

